

KOBELCOグループの「総合力」を活かし、これからも社会の発展に貢献し続けます。



株式会社神戸製鋼所
代表取締役社長

山口 貢

株主の皆様には日頃から格別のご高配を賜わりまして厚く御礼申し上げます。

2022年度上半期の業績やトピックスなどをご報告いたしますので、是非ご覧いただきたく存じます。

当期の業績及び配当について

当社グループの当上半期の連結業績につきましては、自動車生産減少の影響を受けた素材系事業や、中国需要減少の影響を受けた建設機械事業における販売量の減少があったものの、各事業分野において販売価格が改善されたことなどから、売上高は前年同期に比べ1,974億円増収の1兆1,696億円、営業利益は前年同期に比べ270億円減益の197億円、経常利益は前年同期に比べ25億円減益の418億円となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期に比べ65億円減益の280億円となりました。

2022年度の連結業績につきましては、自動車向け需要回復遅れなどによる素材系事業を中心とした販売量の減少や、エンジン認証問題に伴う建設機械事業における販売量の減少などを想定し、売上高は2兆5,300億円程度、営業利益は550億円程度、経常利益は700億円程度、親会社株主に帰属する当期純利益は450億円程度と見通しております。

当期の中間配当につきましては、今後の財政状況、業績の動向、先行きの資金需要などを総合的に勘案した結果、1株につき15円とさせていただきます。株主の皆様には、何卒ご理解を賜りたいと存じます。

中期経営計画の進捗について

当社グループは、昨年5月にKOBELCOグループ中期経営計画(2021~2023年度)を発表しました。

発表から1年が経過しましたが、総じて順調に進捗しているものと認識しております。

足もとでは、ロシア・ウクライナ問題に端を発する資源・エネルギー価格の高騰、サプライチェーンの混乱など、先行き不透明感が増している状況にありますが、中期経営計画で掲げた5つの重要課題を着実に実行していくことにより、安定的にROIC(投下資本利益率)5%以上を確保できる「安定収益基盤の確立」を目指してまいります。

また、長期的な課題である「カーボンニュートラルへの挑戦」に向けても、生産プロセスにおけるCO₂

排出量削減と社会のCO₂排出量削減貢献の両面から引き続き取り組んでまいります。

特に、製鉄分野でのカーボンニュートラル実現の鍵を握るのがMIDREX®プロセスです。

MIDREX®プロセスで生産された鉄源を使うことでCO₂の排出量を低減した鋼材の生産が可能となり、本年5月には、低CO₂高炉鋼材[Kobenable Steel]を国内で初めて商品化しました。

また、本年10月には、スウェーデンの製鉄会社H2グリーンスチール社より、世界初の100%水素直接還元鉄プラントを受注しました。今回受注したプラントは100%水素を還元剤として用いるMIDREX®直接還元鉄プラントであり、ほぼCO₂排出量ゼロでの稼働が可能となります。あわせて当社は、H2グリーンスチール社への出資を決定するとともに、将来的なグリーンHBI*購入に向けて協議を開始しました。

KOBELCOグループの強みを象徴する「総合力」

当社グループは、幅広い事業領域をもとにした顧客基盤と21のコア技術による深い知見に基づいた高付加価値製品やソリューションを提供可能な、世界でも稀有な企業グループです。

自動車の軽量化・電動化における鉄、アルミ、溶接技術を組み合わせたソリューション提案は「KOBELCO」ならではの長所です。

製鉄プロセスにおけるCO₂排出量削減以外にも、機械事業とエンジニアリング事業が有する経営資源の相互活用により、高砂製作所にて「ハイブリッド型水素ガス供給システム」の実証実験を来年3月頃から開始予定であるなど、カーボンニュートラルそして水素社会に向けた多様な用途への貢献を目指しております。また、昨年11月に完全子会社化した(株)神鋼環境ソリューションは、水処理関連事業・廃棄物処理関連事業及び化学・食品機械関連事業など様々な環境対応事業を行っております。本年8月には、DINS関西様など5社共同で提案した、国内初となる「廃プラスチックのガス化及びメタノール化実証事業」が、環境省「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業」に採択されました。世界では海洋プラスチック問題が社会問題化するなど、環境保護の観点から



プラスチックのリサイクル方法確立の必要性が急速に高まっており、本事業はこれまで廃棄されていたプラスチックについて、ケミカルリサイクルによる資源循環システム構築を目指すものであります。

このように、グループの経営資源を組み合わせることにより社会的ニーズに応えるソリューションを提供できることは、まさに当社グループの強みである「総合力」のなせる業です。当社グループの競争優位性を高め、より一層、持続的成長の実現に磨きをかけてまいります。

当社グループが持続的に成長するためにはまだまだ多くの乗り越えるべきハードルがありますが、当社グループはこれまでも常に組織や常識の枠にとらわれず挑み続けてまいりました。その成果が今日の幅広い事業領域、多様な技術、多くのお客様の存在であると考えております。

当社グループはこれからも、「総合力で社会課題の解決に挑み続ける」という使命に基づき、企業価値の最大化を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご指導とご鞭撻を賜りますとともに、当社グループをご支援いただきたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

2022年12月

*: Hot Briquetted Iron(熱間成形還元鉄)の略。
還元鉄はそのままでは長距離輸送に適さないため、還元炉より排出された高温の還元鉄をある程度の大きさの塊(Briquette)に押し固めたもの。